

2013年8月11日
JFA フットサル委員会

全日本ユース (U-18) フットサル大会 (仮称) の開催について

1. フットサルの現状

① 全般

- ・ “いつでも、どこでも、誰でも” できるスポーツとして、屋外の人工芝のピッチでもプレーされる (エンジョイ志向のプレーヤーは全国で推定 300 万人)。
- ・ JFA は、一般、大学、女子、U-15 (男女)、U-12 の全国大会を開催。
 - 2007 年から日本フットサルリーグ (F リーグ) 開催
- ・ フットサル日本代表は、AFC フットサル選手権で 2 度優勝、FIFA フットサルワールドカップに 4 度出場し、昨年のワールドカップでは 11 位。
- ・ 狭いピッチで攻守の切り替え等が速く、サッカーの技術向上にも役立つ。

② U-18 年代

- ・ JFA 主催大会なし
- ・ 日本フットサル連盟主催/JFA 後援で “U-18 フットサルトーナメント” 開催 (2011、12)
- ・ エンジョイ大会として “夏の高校生フットサル大会” 2008~10、2013 開催
- ・ 9 地域が U-18 フットサルの地域大会開催予定
- ・ 既に地域大会開催地域 (北海道、関東、東海) からは強く開催要望あり
 - 14 都道府県が、何らかの形で U-18 フットサルを開催
 - フットサル部、サッカー部のフットサル活動以外は、一般のクラブ等でプレー
- ・ フットサル人気上昇、少子化対策、控え選手プレー機会提供のため大会開催要望あり
- ・ サッカーの練習のためにも導入要望 (女子を含む) あり。

2. 日本フットサル連盟主催/ U-18 フットサルトーナメント (JFA 後援)

- ・ 2013 年大会
3 月 30、31 日 (テバオーシャンアリーナ (名古屋))
予選を勝ち抜いた 9 地域のチーム + 開催地 1=10 チームの参加 (予選 82 チーム参加)
決勝大会参加チーム: 高校サッカー部=7、フットサル部=3
- ・ 2014 年大会
3 月 27~29 日 (駒沢体育館) 12 チーム (予定)
 - 地域大会開催、全国大会出場旅費等の補助なし

3. U-18 年代がフットサル大会に出場するための課題

- ・ 高校フットサル部の部活動の場が少ない
 - ⇒ 需要はあると思われるが、大会がないため部を創設できず
- ・ サッカー技術向上のためフットサル導入必要性を感じるが、引率教員不足
- ・ フットサル指導者不足 (需要不足、興味不足)
- ・ 高体連種目ではないので、難しいと考えられている

4. U-18 フットサル選手権大会の開催

① 目的

- ・ U-12、U-15 大会と大学との中間年代にフットサルをプレーする環境を積極的に整備
- ・ フットサルをプレーする U-18 選手のための全国大会（目標）を整備
- ・ 高校サッカーチームにフットサルをプレーしてもらう
 - ⇒ サッカーの補助的トレーニングとして（冬場、雨天時）
 - ⇒ サッカー技術の向上の一環として（ボール扱い、狭い地域での判断向上）
 - ⇒ さらなる試合環境を提供する手段として（少子化等で部員数少ないチーム等）
- ・ 将来のフットサル選手の発掘（AFC も U-21 フットサル大会開催計画）
- ・ フットサルを普及させる

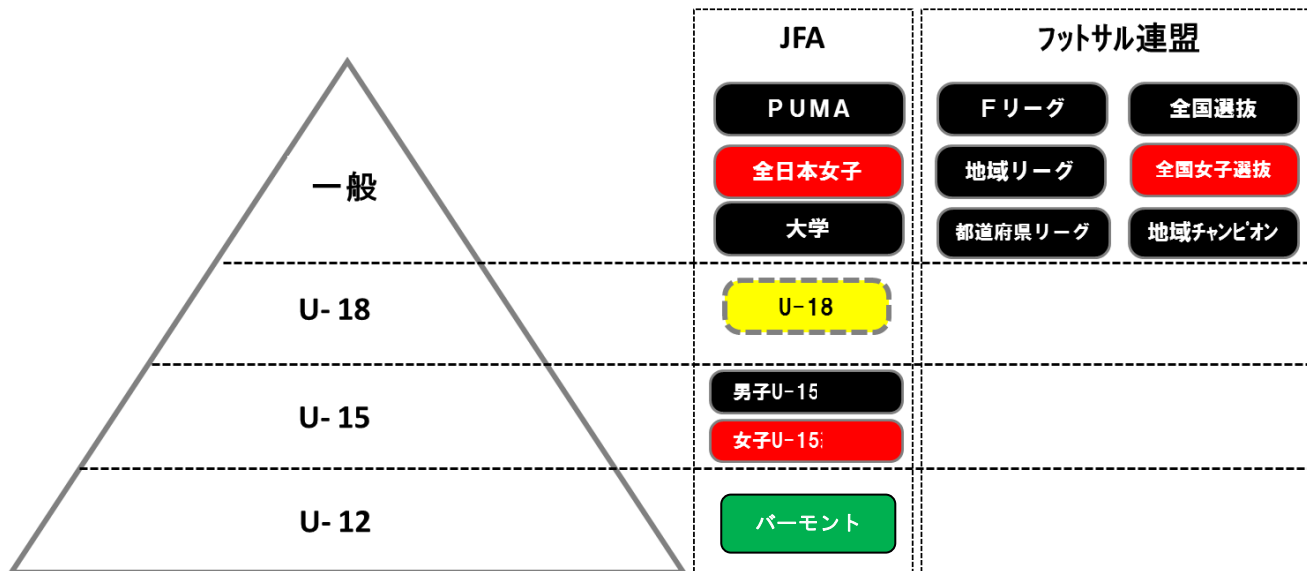
② 概要（第1回）

- ・ 期 日 2014 年 8 月の 4 日間
- ・ 会 場 未定
- ・ チーム数 16 チームを予定

5. 将来

- ① U-18 年代のフットサルプレーヤー数増大
- ② 各都道府県 1 代表 + 開催地の 48 チームによる開催
- ③ この大会の参加選手が F リーグ所属選手、フットサル日本代表としてプレーする

<年代別フットサル大会>



以上